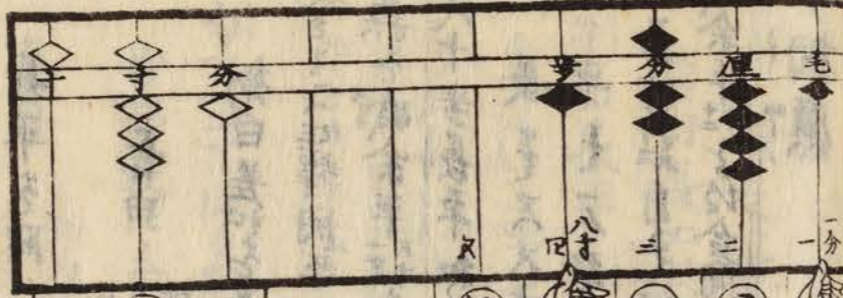
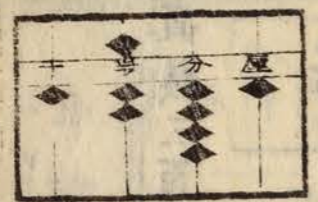


- ① 商一分と法の九十九と見合二九九下の桁を引
- ② 法の二万と二万の割商一分なり
- ③ 法より九十九の十倍より八十八あるを引
- ④ 法より九十九の十倍より八十八あるを引

除法とてなるなり 又形あり後をてなるなり
商八十八すをのけ合は法三とけ二万〇九十二



減法なり

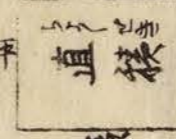
- ① けり半より法三をうけ百七十等より次の商一分を引
- ② けり半より法三をうけ百七十等より次の商一分を引
- ③ けり半より法三をうけ百七十等より次の商一分を引
- ④ けり半より法三をうけ百七十等より次の商一分を引
- ⑤ けり半より法三をうけ百七十等より次の商一分を引
- ⑥ けり半より法三をうけ百七十等より次の商一分を引
- ⑦ けり半より法三をうけ百七十等より次の商一分を引
- ⑧ けり半より法三をうけ百七十等より次の商一分を引
- ⑨ けり半より法三をうけ百七十等より次の商一分を引
- ⑩ けり半より法三をうけ百七十等より次の商一分を引

○平方帯綴

直積三百十八歩長平の差は寸ありて

長平を問

善曰 長式尺五寸 平を尺五寸



初曰差六を差て寸三餘三歩

積三歩を加へると三輝用平方は差は三歩加長尺を問る内差六を減余平尺を得る合問

寸平積一百八十歩長平和して二十七寸長平を問

善曰 長を尺五寸 平を尺五寸

初曰和積五歩は自歩八十二内積一歩と減余二歩用平方等初和は三歩加長尺を問る減余平は寸合問 前圖の如し

○立平相應

長二尺平を尺五寸に相應ありて平積は百

三十二歩之長平を問

善曰長二尺四寸 平を尺八寸



初曰長平相應法ありて諸

歩を割一歩に實にして平方用之より因法と
長二と系尺長二尺平を尺五寸をうけ大平を尺八寸を得合問
三十二歩と系積三百歩と割七を尺をかりこれに百三十三歩をうけ三十二歩をかりこれに平の巾をかり平方用之大平を尺八寸をかりこれを括りたりなり



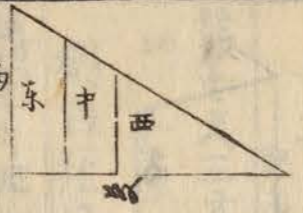
句百二十間及二百十間末積は三百九十は歩中積は六百七十

歩西積は六百三十六歩各問

善曰 西は七十二間 及百二十六間 中は百八間 中は六十三間 東は二十一間

初曰東中西積各和して六百歩を以て西積三百歩を除き

得用平方六を因法と
句百二十と系西は三百歩を得尺三寸と系西は六百歩を得尺六寸を以て中西積和は六百歩を得尺六寸



術曰短を長と兼て兼て用平方を以て合同

長三寸二寸 玄八寸 差を問

答曰二寸

術曰長を短と兼て兼て用平方を以て合同

長七寸 差五寸 差を問

答曰二寸四寸 玄二尺八寸

術曰巾を短と兼て兼て用平方を以て合同

減長余半を短と兼て兼て用平方を以て合同

長八寸 股強の和二尺八寸 差を問

答曰一尺二寸 玄一尺三寸

術曰巾を短と兼て兼て用平方を以て合同

長八寸 白玄の差六寸四寸 白玄を問

術曰長巾を短と兼て兼て用平方を以て合同

長九寸九分 白玄和を尺式寸五分 白玄を問

答曰 玄一尺二寸五分 白玄を問

術曰長巾を短と兼て兼て用平方を以て合同

積六歩 白玄差三寸 白玄を問

答曰 白三寸 差四寸 玄八寸

術曰積八段を短と兼て兼て用平方

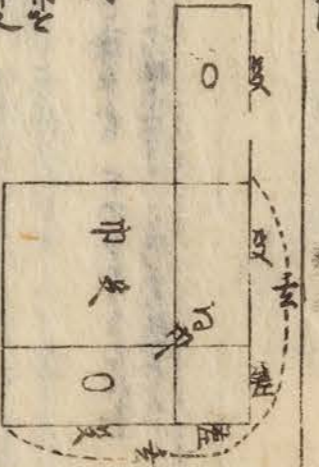
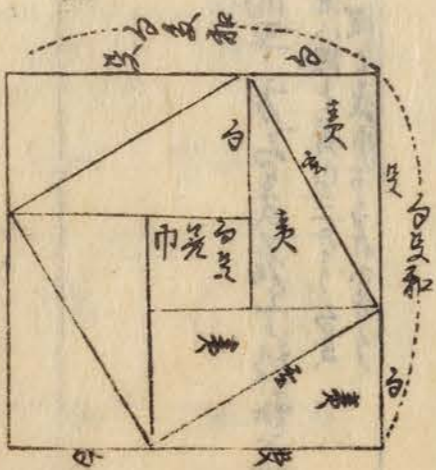
白玄和を以て内差を減し余半を以て

差と短と以て積八段を短と兼て兼て

用平方を以て合同

積六歩 白玄和七寸 白玄を問

答曰 白三寸 差四寸 玄八寸



術曰白及和巾を並内横八段を減し余用平方白及差を以て白及和を以て差を以て内差を減し余白を以て和母を並内横八段を減し余用平方を以て合同

發入寸 白及和七寸 白及を同

善曰白三寸 及尺寸

術曰弦中二段を並内白及和巾を減し余用平方白及差を以て和母を以て差を以て内差を減し白を以て合同

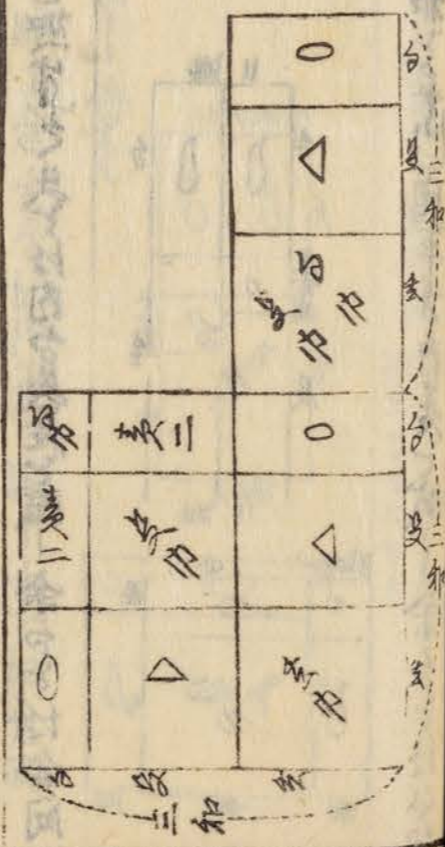
善曰白三寸 及尺寸

術曰白及和巾を並内を倍し内白及和巾を減し余用平方白及和を以て差を加し差を以て内差を減し余白を以て合同

善曰白三寸 及尺寸 白及を同

術曰白及差三和を並内と白及内差二段を減し余用平方白及差三和

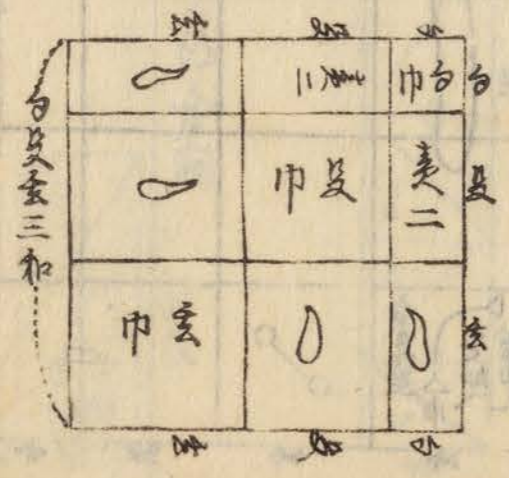
を以て除之を以て和を減し余白及和を以て内差八段を減し余用平方白及差を以て和を加し差を以て内差減余白を以て合同



白及和八寸 及差和九寸 白及を同

善曰白三寸 及尺寸 白及を同

術曰白及和を並内差三和を以て倍し用平方白及差三和を以て内差減し余白を以て和を以て和を減し余白を以て合同



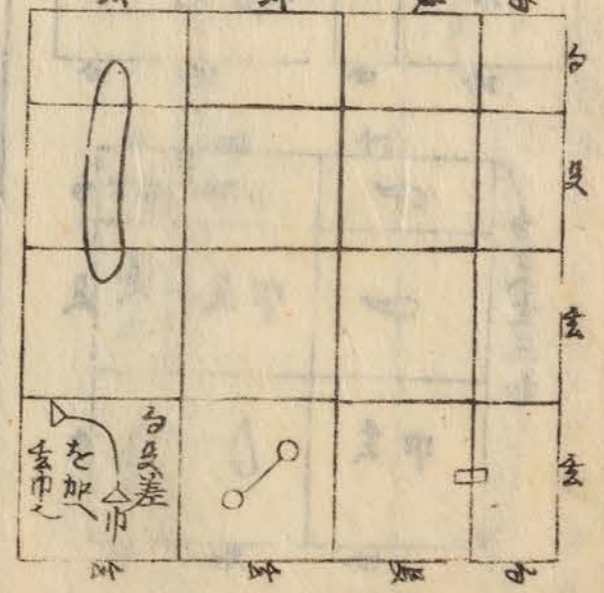
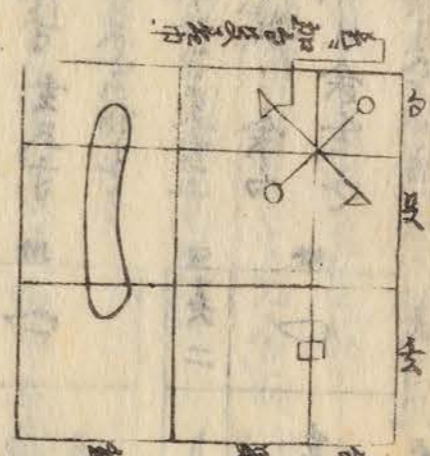
白と黒を二和を尺二寸
白と黒を尺一寸

善日 白三寸
尺二寸
去尺寸

初日三和を二和より倍する白を尺巾と
加へ用平方内三和を減し余を尺巾三

和と減し余を尺和より倍する白を尺巾と
白と黒八寸 尺五寸
白と黒を尺

善日 白二寸 尺二寸
去尺寸

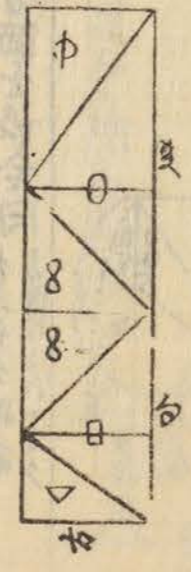
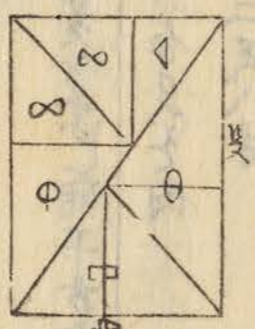


初日尺と黒を尺と黒倍する白を尺と黒用平方内尺と減し余を尺と黒

尺と黒九寸 白と黒
去を尺

善日 白三寸 尺二寸
去尺寸

初日尺と黒を尺と黒倍する白を尺と黒用平方内減し余を尺と黒



初日尺と黒を尺と黒倍する白を尺と黒用平方内減し余を尺と黒

善日 二尺を尺



方面を尺二寸 白式尺を寸 尺を同

善日 二尺八寸

術曰 白と並内方面を減 余以白方面と除き尺と併合同 白方面を尺寸
尺方面を尺二寸 白方面を尺九寸 方面を同

善日 善日 二寸

術曰 白方面を尺二寸 白方面を尺七寸 白尺を同
方面を尺二寸 白尺を同

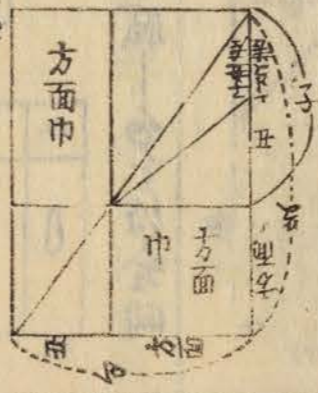
善日 白式尺を寸 尺二尺八寸

術曰 白方面巾に段と並尺を巾を加 用平方内白尺を
を減 余以尺を白方面と併合同 白を併尺

差を加 尺を併合同 尺方面を尺二寸 白方面を尺二寸 白尺を同

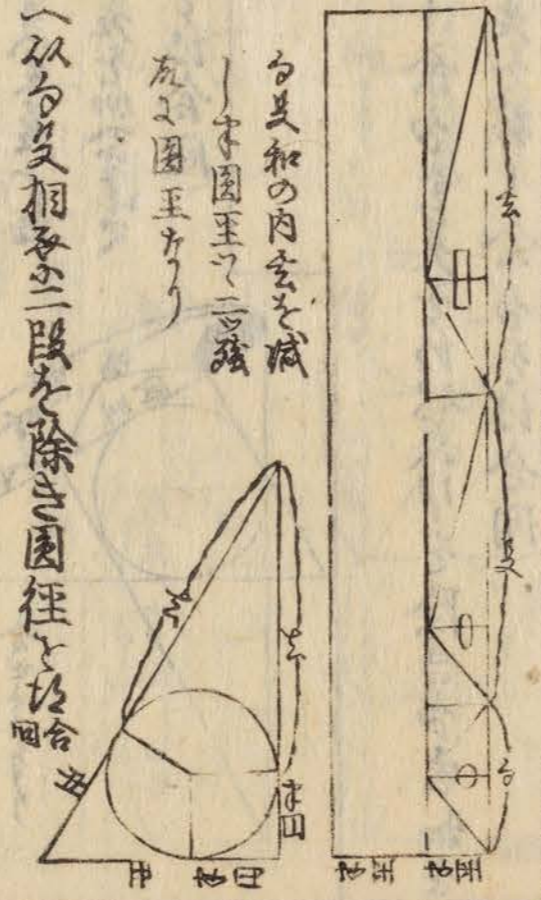
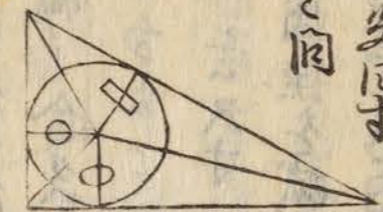
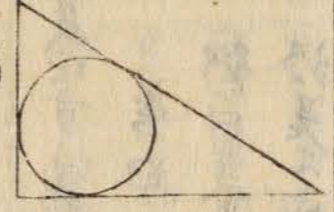
善日 白二尺を寸 尺二尺八寸

術曰 白尺を尺二寸 白尺を尺二寸 白尺を尺二寸 白尺を尺二寸 白尺を尺二寸



善日 二尺八寸

白三寸 尺二寸
圓徑を同



術曰 白三寸 尺二寸
用平方を尺二寸 白尺を同
余以白と並尺を加 内を減 圓徑を併

善日 白三寸 尺二寸

術曰 白と並圓徑を加 白尺を併尺 以白巾二段減 余用平方白
尺を併尺 白尺を併尺 白尺を併尺 白尺を併尺 白尺を併尺

善曰 白三寸 及四寸 五寸

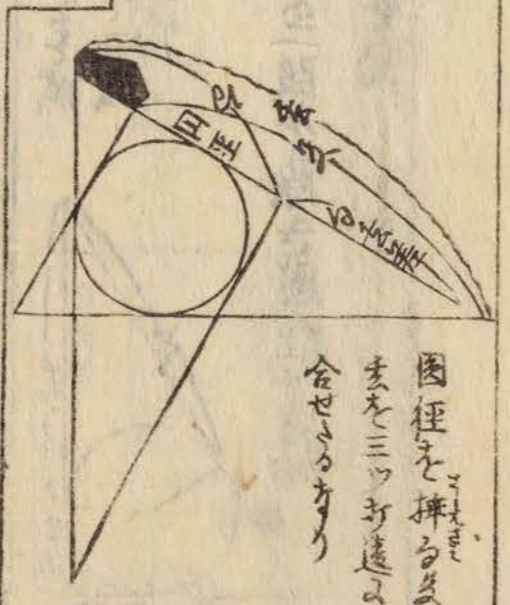
術曰 積を足して以て圓徑除るる及去三和を於内圓徑を減し余
字之去を以て圓徑を加之及和を於内圓徑を減し余用平方
及差を以て和を以て内圓減差を於合同
白三寸 圓徑二寸 及去之同

善曰 及四寸 五寸

術曰 白を是内減圓徑余去去差之
以て巾を除き及去和を於差を加之
去を於内差を減し余及を於合同
及四寸 圓徑二寸 白去を同

善曰 白三寸 五寸

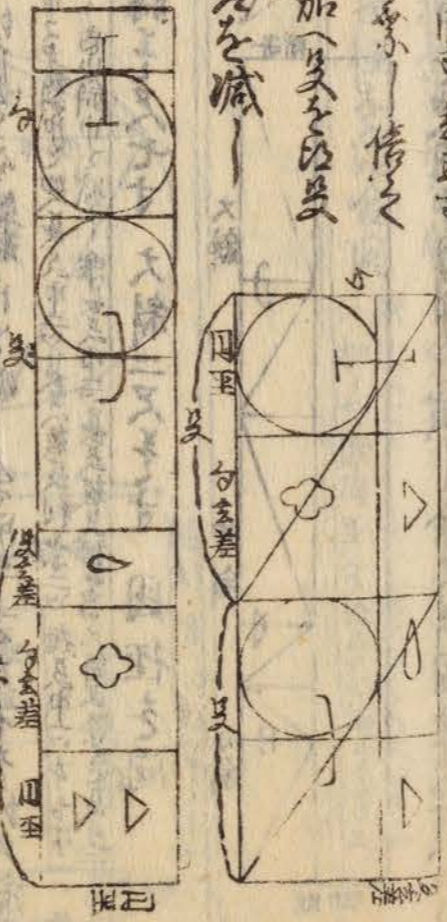
術曰 及を是内圓徑を減し余白去差を以て及巾を除き去和を
於差を加之及去を於内差を減し余白を於合同



圓徑を挿る及
去を三寸打違ふ
合せの方

善曰 圓徑二寸 白三寸 及四寸 五寸

術曰 白去差を以て及去差と和し倍之
用平方圓徑を以て去差と加之及を以て
去差を加之及を以て内白去差を減し
去を於合同



圓徑二寸 中白二寸五分
白去を同

善曰 及四寸 五寸

術曰 中白と去圓徑と和し
中白圓徑を以て除るる及去三和を於内圓徑を減し余
字之去を以て圓徑を加之及和を於内圓減差を於合同

方面を及四寸 圓徑
及五寸 白去を同

善曰 及三寸 四寸

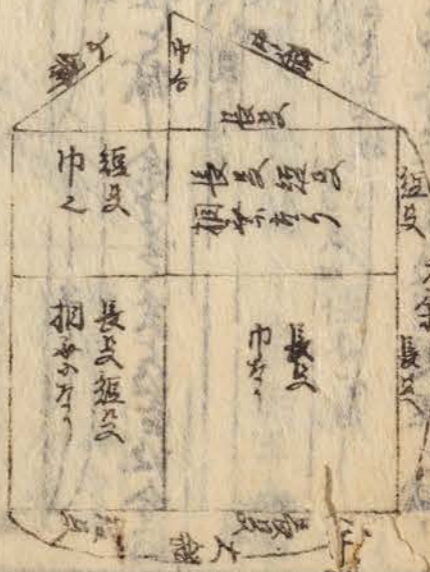
術曰 圓徑と去方面と和し
方面圓徑を以て除るる及去三和を於内圓徑を減し

余字之主を以て合同

小斜八寸 中斜七寸八分 大斜
七寸二分 長尺短尺中
白美を同



長尺七寸二分 短尺七寸
中白三寸 美十六歩八分



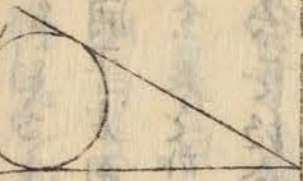
御曰大斜巾を並中斜巾と加内小斜巾を減一余大斜を以て除之其長尺

を以て大斜を減一余短尺を以て自之小斜巾を減一余用平方中白を以て大斜を

算し其美を以て合同

小斜を尺 中斜を尺七寸 大斜二尺七寸 因徑を同

若曰七寸



斜巾を並小斜巾を以て内中斜巾を減一余大斜用徑を以て除之

自之以大斜巾と小斜巾相合に段を減一余用平方美に段を以て除之其大
大中小斜の三和を以て除之因徑を以て合同 御曰の三和を以て除之其大中小
三和を以て除之因徑を以て合同

○ 徑矢強

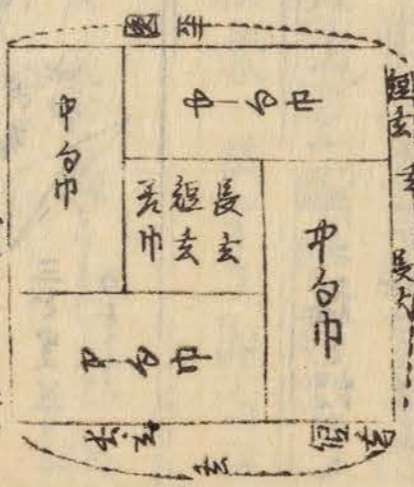
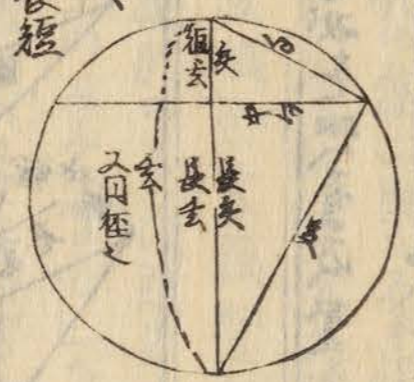
因徑一尺 弦八寸



矢と同

若曰二寸

御曰因徑を以て自之



内弦巾を減一余用平方長短
矢の差を以て因徑を減一余中白之差を以て合同 夫の短尺は長尺の長尺より因徑を
去り去り中白二段の中白に段を

去八寸 矢二寸 因徑を同

若曰七寸

御曰去と並之自之矢巾を加矢を以て除之因徑を以て合同 中白の短尺を以て除之

因徑を尺 矢二寸 去を同

若曰八寸

御曰因徑を以て自之矢を減一余矢を以て用平方倍之去を以て合同

○ 椎積之解

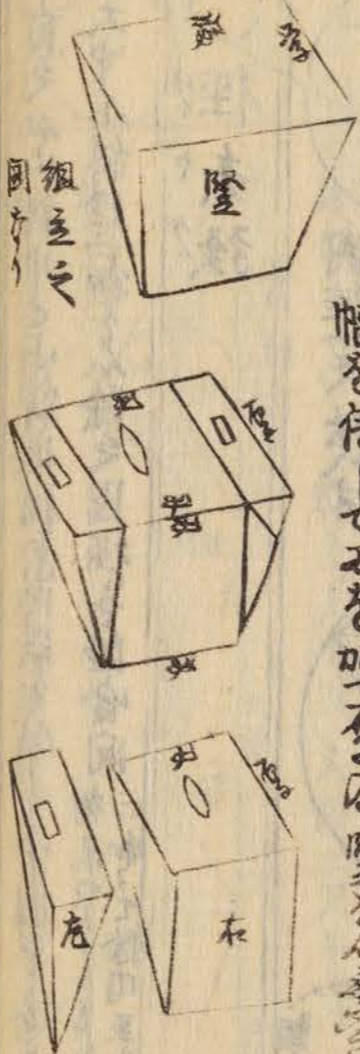
方面を正直ぐ深系一三除之積を以たり



かくて一四積
三つありあり
三と定法と
りたり

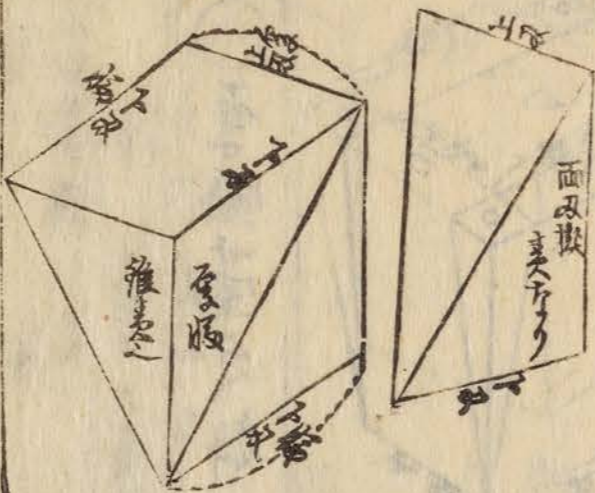
○ 楔形之解

幅を倍して双を以て厚及堅を以て除之積を以たり



み厚及堅相乘三段者
即一段の厚なり
厚と倍六段の厚なり
み厚の厚さを以て相
乗三段と即三段の
厚なり

○ 両双換之解

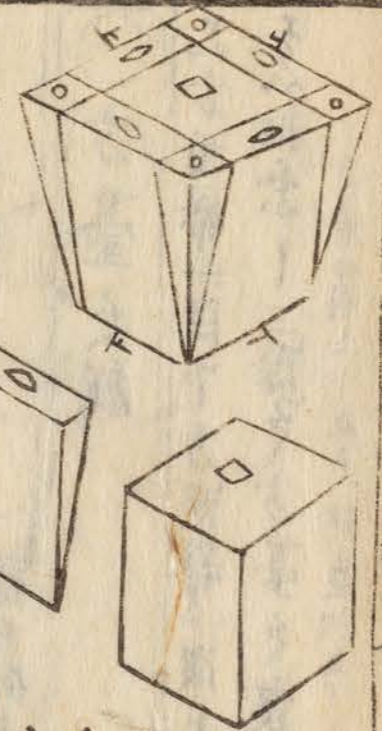


上及下双堅相乘六除之積を得るなり
是より双換の厚一段なり双換日寸の換
形の積六段の厚及堅相乘三段なり内
より厚及堅相換六段の厚及堅相乘二
段減余厚及堅相乘一段なり即ち双
換形の厚六段なり
上の双を厚とし下の双を換として厚及
換の形を以てるなり

○ 方臺之解

上方面帯一段下方面帯一段上方面下方面相乗右相併堅
を以て相乗一三除之方臺之積なり

方臺の圓上下及右相乗



六段の立方体

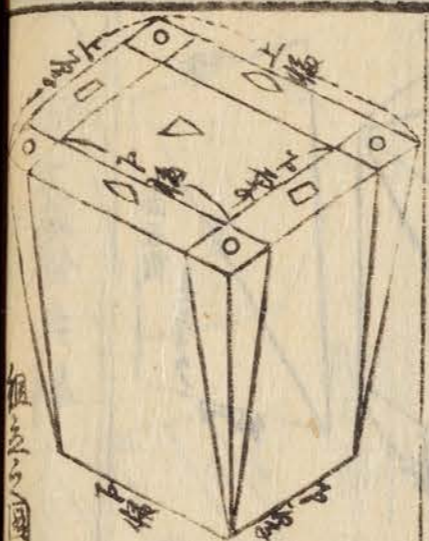


上方面中之内

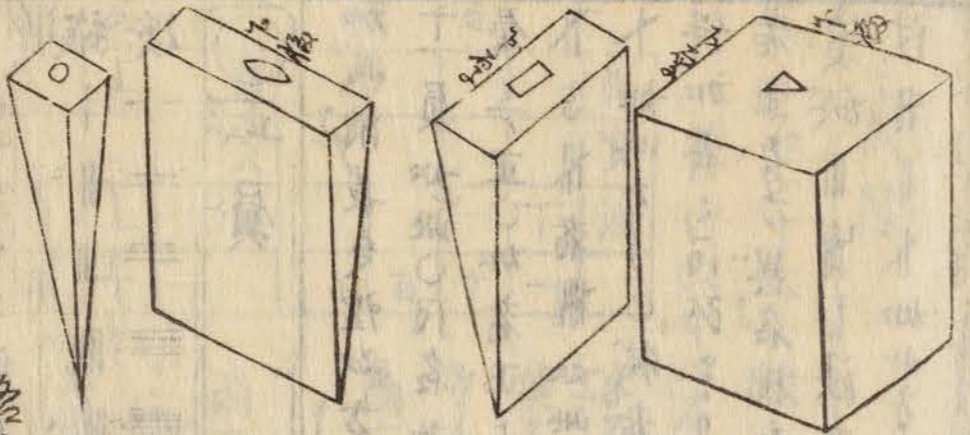
上方面中之内 〇一ツ
上方下方相乗之内 〇二ツ
下方面中 〇一ツ

上方面中之内 〇一ツ
上方下方相乗之内 〇一ツ
下方面中 〇一ツ
和而三段也

厚幅基之解



上幅を倍して下幅を加へ上厚と乗る内 〇二ツ
下幅を倍して上幅を加へ下厚と乗る内 〇二ツ
和而六段者即十二段と也



厚幅基之解

上幅を倍して下幅を加へ上厚と乗る内 〇二ツ
下幅を倍して上幅を加へ下厚と乗る内 〇二ツ
相併六段者十二段と也
上幅を倍して下幅を加へ上厚と乗る内 〇二ツ
下幅を倍して上幅を加へ下厚と乗る内 〇二ツ
相併六段者十二段と也
上幅を倍して下幅を加へ上厚と乗る内 〇二ツ
下幅を倍して上幅を加へ下厚と乗る内 〇二ツ
相併六段者十二段と也

算書之綴換

縦一... 後上下各隔位かくのぶとくなり

正負

加減消長之理以方色分其品乃正算亦負算黑亦一正正...

商除

空級なり... 相消者減者と等一の不拘左右而已

著曰六十二石入斗

Table with 4 columns and 4 rows for '商實法' (Division) showing digits 十, 一, 十, 一 and units 子, 百, 十, 一.

Table with 4 columns and 4 rows for '商實法' (Division) showing digits 十, 一, 十, 一 and units 子, 百, 十, 一.

子石を實十六と法と一を定む... 商六十石を立る

商六と法と九... 實負六減余負は十石

Table with 4 columns and 4 rows for '商實法' (Division) showing digits 十, 一, 十, 一 and units 子, 百, 十, 一.

又商二と法と九... 乃法一位退く

圖之七

				商
		上		實
				法
				廉
				隅
分	一	十	百	千

又次の商入し法と凡々
 一と一尺が尺。八六三十
 実を加へる実員をよせば
 減り余り一尺は高六
 十二石尺半なり

圖之八

				商
		上		實
				法
				廉
				隅
分	一	十	百	千

如此なり

○平方

寸平棧二百二十八歩方面を問

圖之九

				商
			=	實
				法
				廉
				隅
分	一	十	百	千

善日十八寸
 二百二十八歩と実と一
 算を廉に並べ一を
 多むと布の凡が實根
 と翻して負ふと高と法
 一十と開後格實根法
 廉級進退法

圖之十

				商
			=	實
				法
				廉
				隅
分	一	十	百	千

高十寸を之の高
 と廉一と九をわけて
 法は加へ法と商と
 九をよて実を加へ反
 減り商と廉に凡を
 して法は加へ高と
 退く法は一を廉に

圖之十一

				商
			=	實
				法
				廉
				隅
分	一	十	百	千

次の商入寸を之の高と廉九をよて法は加へ法と商と法の二と
 九をよて二尺十実を加へ次の商と法の尺と九をよて八尺二
 十尺実を加へ實級算の凡が反減して實級算とある初
 高十尺寸なり
 高と廉と法は法級加高と法級をよ実級加高と廉級と法
 法級を加へ七と高一後九之位を退次の高を立て始るなり

○立方

寸立棧は九十六歩五方面を問

圖之十二

				商
			=	實
				法
				廉
				隅
分	一	十	百	千

善日十六寸
 は九十六歩を實と一算
 を隅に布く二後と多むと
 布の凡が實根と翻して負ふと
 法級加高と法級進退法
 高十寸を之の高

圖之十三

				商
			=	實
				法
				廉
				隅
分	一	十	百	千

高と隅九をよて廉級加高
 と廉級と
 九をよて法
 級を加高と
 法級九をよ
 て実級加へ

お又十八本は銀三匁と糸一以減三百五十五余三十分を以除く故に本
代銀より上級銀の各銀身二級松者各松身三級松者各松者なり

米六十石を賣て大豆七十石を賣ハ銀百匁十匁余る米八十石を賣て大豆
七十石を賣ハ銀七十匁不足 米大豆を石の價を同

言曰米三十匁 大豆二十八匁

銀百匁十 米六十匁十 大七十匁

ハ正六匁 匁なり
ハ正九匁 正なり

銀七十匁 米八十匁十 大七十

左右とも下の大の字を消き九の七十を右銀と米と糸石七十五匁の銀と米と

銀九匁十匁 米八匁十匁

其日名相宗ハ正と名相宗ハ負

銀五匁十匁十 米八匁十匁

相消 右を懸て左とす

銀一匁十匁十 米八匁十匁

式

右の銀ハ負より左とすとも又右の米ハ正
又右の内之を左の米ハ減して余正と如上を
また下とほかり除き米石の價より八十石を賣一七十匁を賣て七十五匁を

紗綾に湯布二端代銀合百九十匁 縮三正 布八端代銀合貳百八十

匁 紗綾を端縮二正代銀合九十匁 一端一正代銀を同

言曰紗綾二十八匁 縮二十八匁 布二十匁

銀百九十匁十 紗一 布二 後式右 正出負

銀二百八十三 〇 布八 縮三 右

銀九十匁十 紗一 〇 縮二 九

左右とも端の字を消き九二を右の布より上へ各糸一右三を左の紗綾

銀又百匁十 〇 布十六 右 正正名相宗負相消を

銀二百八十三 紗三 九 右 正正名相宗負相消を

右紗綾の室より左紗綾三正斗なり

右布八匁又ありこれ斗なり

銀八正とあり相減余正なり